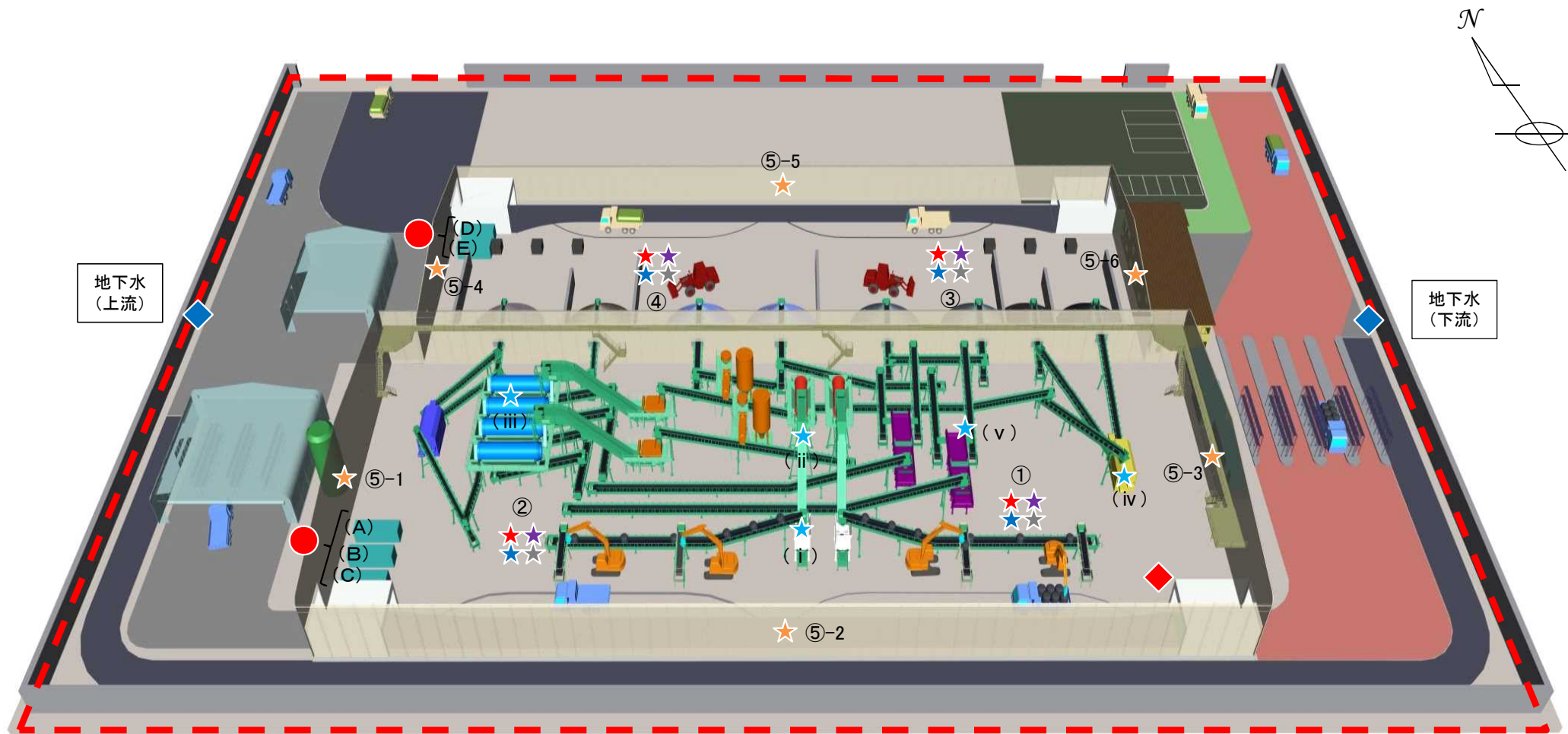
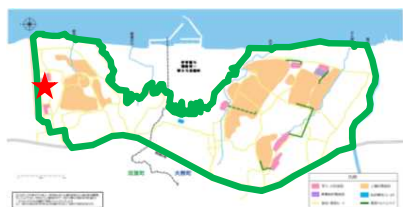


受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定地点(月次測定)



★:施設の位置



【凡例】

- | | | |
|-----------------|-----------------|----------------|
| ◆ : 地下水中の放射能濃度等 | ● : 排気中の放射能濃度 | ◆ : 排水中の放射能濃度 |
| ★ : 粉じん濃度 | ★ : 空間線量率(作業環境) | ★ : 空気中の放射能濃度 |
| ★ : 表面汚染密度(床) | ★ : 表面汚染密度(壁) | ★ : 表面汚染密度(設備) |
| --- : 敷地境界線 | | |

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年3月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2020/3/5 (稼働後)	63	32	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2020/3/5 (稼働後)	39	39	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/3/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	0.8
②受入 西	4.0
③搬出 東	0.5
④搬出 西	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/3/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/3/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/3/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.39
②受入 西	0.16
③搬出 東	0.16
④搬出 西	0.20

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/3/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年2月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2020/2/6 (稼働後)	53	32	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2020/2/6 (稼働後)	36	34	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/2/13 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	0.8
②受入 西	3.9
③搬出 東	0.3
④搬出 西	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/2/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.69 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/2/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/2/13 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.38
②受入 西	0.19
③搬出 東	0.17
④搬出 西	0.19

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/2/13 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2020年1月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2020/1/9 (稼働後)	70	47	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2020/1/9 (稼働後)	36	40	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2020/1/15 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.3
②受入 西	4.1
③搬出 東	0.4
④搬出 西	0.4

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2020/1/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2020/1/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2020/1/15 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.36
②受入 西	0.19
③搬出 東	0.16
④搬出 西	0.16

★空気中の放射能濃度

測定地点	2020/1/15 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年12月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/12/5 (稼働後)	63	22	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/12/5 (稼働後)	38	31	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2019/12/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	4.6
②受入 西	4.3
③搬出 東	0.9
④搬出 西	1.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/12/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/12/2,12 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/12/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.31
②受入 西	0.17
③搬出 東	0.17
④搬出 西	0.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/12/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年11月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/11/6 (稼働後)	58	39	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/11/6 (稼働後)	36	30	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

★粉じん濃度

測定地点	2019/11/14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	2.4
②受入 西	8.2
③搬出 東	0.7
④搬出 西	0.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

表面汚染密度 (★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/11/8 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/11/5 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≤1

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/11/14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.32
②受入 西	0.14
③搬出 東	0.17
④搬出 西	0.15

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/11/14 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≤1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年10月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/10/3 (稼働後)	72	28	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/10/3 (稼働後)	35	26	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/10/1 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/10/10 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.1
②受入 西	5.2
③搬出 東	0.5
④搬出 西	0.8

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/10/10 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.09
②受入 西	0.13
③搬出 東	0.13
④搬出 西	0.17

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/10/10 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	ND
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/10/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.68 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年9月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日 \ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/9/5 (稼働後)	76	34	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/9/5 (稼働後)	37	21	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/9/2 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/9/12 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.6
②受入 西	6.8
③搬出 東	0.6
④搬出 西	0.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/9/12 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/9/12 (稼働後)	
	Cs-134 (Bq/cm ³)	Cs-137 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND	ND
②受入 西	ND	3×10 ⁻⁷
③搬出 東	ND	ND
④搬出 西	ND	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：4.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、放射能濃度が検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/9/9 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.70 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年8月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/6/1	(稼働前)	46	54	ND
	2019/8/1	(稼働後)	75	45	ND
下流	2017/6/1	(稼働前)	49	30	ND
	2019/8/1	(稼働後)	29	8.5	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/8/1 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/8/8 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	0.4
②受入 西	0.4
③搬出 東	0.5
④搬出 西	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/8/8 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/8/8 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/8/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(双葉①工区、第1期)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年7月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定日 \ 測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/7/4 (稼働後)	75	45	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/7/4 (稼働後)	24	16	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/7/1 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20 + セシウム137の濃度/30 ≤ 1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/7/11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.7
②受入 西	6.5
③搬出 東	0.4
④搬出 西	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/7/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/7/11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：3.0 × 10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：3.0 × 10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2 × 10⁻³ + セシウム137の濃度/3 × 10⁻³ ≤ 1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/7/8 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年6月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/6/6 (稼働後)	100	110	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/6/6 (稼働後)	40	38	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/6/3 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/6/14 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	1.5
②受入 西	5.1
③搬出 東	0.4
④搬出 西	1.6

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/6/14 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/6/14 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/6/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年5月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/5/9 (稼働後)	83	80	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/5/9 (稼働後)	42	47	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/5/10 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/5/17 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	0.8
②受入 西	2.9
③搬出 東	0.3
④搬出 西	0.5

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/5/17 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/5/17 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/5/7 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.72 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²

受入・分別施設(第1期双葉①工区)における 周辺環境及び作業環境測定結果(月次測定) 2019年4月

◆地下水中の放射能濃度等

測定地点	測定項目	電気伝導率 (mS/m)	塩化物イオン濃度 (mg/L)	放射能濃度 (Bq/L)
	測定日			
上流	2017/6/1 (稼働前)	46	54	ND
	2019/4/4 (稼働後)	87	77	ND
下流	2017/6/1 (稼働前)	49	30	ND
	2019/4/4 (稼働後)	54	92	ND

放射能濃度検出下限値：1 Bq/L

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

●排気中の放射能濃度

測定地点	測定対象	2019/4/1 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/m ³)
集じん機A	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機B	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機C	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機D	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND
集じん機E	円筒ろ紙	ND
	ドレン部	ND

放射能濃度検出下限値：ろ紙部：0.2 Bq/m³、ドレン部：0.6 Bq/m³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/m³]の限度：セシウム134の濃度/20+セシウム137の濃度/30≦1

◆排水中の放射能濃度

排水実績はないため測定なし。

★粉じん濃度

測定地点	2019/4/11 (稼働後) 粉じん濃度 (mg/m ³)
①受入 東	0.8
②受入 西	1.0
③搬出 東	ND
④搬出 西	0.2

定量下限値：0.1mg/m³、高濃度粉じんの下限値：10mg/m³

NDとは、定量下限値未満であることを示す。

★空間線量率(作業環境)

測定地点	2019/4/11 (稼働後) 空間線量率 (μSv/h)
①受入 東	0.07
②受入 西	0.07
③搬出 東	0.06
④搬出 西	0.12

★空気中の放射能濃度

測定地点	2019/4/11 (稼働後) 放射能濃度 (Bq/cm ³)
①受入 東	ND
②受入 西	ND
③搬出 東	ND
④搬出 西	ND

放射能濃度検出下限値：セシウム134：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³、セシウム137：5.0 ×10⁻⁷Bq/cm³

NDとは、セシウム134とセシウム137のいずれもが検出下限値未満であることを示す。

放射能濃度[Bq/cm³]の限度：セシウム134の濃度/2×10⁻³+セシウム137の濃度/3×10⁻³≦1

表面汚染密度(★床、★壁、★設備)

測定地点		2019/4/8 (稼働後) 表面汚染密度 (Bq/cm ²)
床	①受入 東	ND
	②受入 西	ND
	③搬出 東	ND
	④搬出 西	ND
壁	⑤-1	ND
	⑤-2	ND
	⑤-3	ND
	⑤-4	ND
	⑤-5	ND
	⑤-6	ND
設備	(i) 破袋設備	ND
	(ii) 一次分別設備	ND
	(iii) 二次分別設備	ND
	(iv) 可燃物分離設備	ND
	(v) 濃度測定設備	ND

表面汚染密度検出下限値：0.71 Bq/cm²

NDとは、表面汚染密度が検出下限値未満であることを示す。

限度：40Bq/cm²